

学校経営推進部の設置について



平成29年度 校務改善推進事業発表会 平成29年11月29日

▶ 稲城市立稲城第三中学校 校長 橘 太造・主幹教諭 稲葉 大祐

▶ 1

本校の概要

- ◆ 生徒数463名、普通学級13学級(特別支援学級なし)
 - ◆ 教員数管理職2名 教員各学年7名養護教諭1名の計22名
 - ◆ 非常勤教員1名、非常勤講師が3名
 - ◆ 事務室 都事務職員1名、市嘱託事務職員1名、用務委託1名
- 稲城で最も古くからある矢野口、東長沼が学区
- ◆ 開校当初からの住民と新しい住民が混在
 - ◆ 学校の周りは住宅と稲城の特産品である梨畑などの農地



© K.Okawara・Jet Inoue

▶ 2

本日の発表の流れ

- 1 なぜ学校経営推進部を設置したのか
- 2 学校経営推進部はどのような組織か
- 3 学校経営推進部の運営上のポイントは何か
- 4 学校経営推進部の成果と課題は何か



▶ 3

1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

- ▶ 1つ目の理由 「校務増加への対応」

学校が取り組む業務(校務)が増えた

取り組む組織(分掌)がない

校長の経営方針をしっかりと反映させたい

校長直轄の分掌をつくろう!!

▶ 4

1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

▶ 1つ目の理由「校務増加への対応」

基本的な校務

授業 学校行事 部活動…

基本
校務

新しい教育内容

オリ・パラ教育、防災教育…

後から
付け
加わった

本校独自の課題

周年事業、研究発表会…

独自
課題

▶ 5

1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

▶ 1つ目の理由「校務増加への対応」

基本的な校務

授業 学校行事 部活動…

新しい教育内容

オリパラ教育、防災教育…

本校独自の課題

周年事業、研究発表会…

校長の方針を反映させたい
教員数は変わらない
担う分掌がない

学校経営**推進部**を設置

▶ 6

1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

▶ 2つ目の理由 「地域連携の強化」

学校が取り組む業務(校務)が増えた

教員だけで取り組むことは難しい

地域連携が不可欠だが、担う分掌がない

**地域連携に取り組む分掌を
つくろう!!**

▶ 7

1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

▶ 2つ目の理由 「地域連携の強化」

- 教員以外の力を活用した学校運営が必要不可欠
- より一層「地域とともに子供をそだてる教育」が求められる
- 地域人材を活用していても、単発で管理職主導
- 教員の地域連携に対する意識が高まっていない
- 組織的に地域連携に取り組む分掌が必要



学校経営推進部を設置

▶ 8

1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

▶ 2つ目の理由 「地域連携の強化」

そのために、

- 広報(学校だより・学校HP)
- PTA
- 学校運営連絡協議会
- 小中連携
- ボランティア活動
- 地域防災訓練
- 学校支援コンシェルジュ
(学校支援コーディネーター)

を学校経営推進部の職務内容に位置付けている



▶ 9

1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

▶ 3つ目の理由 「学校経営基盤の強化」

校務改善・効率的効果的な校務の遂行

学校経営的な校務を一元化したい

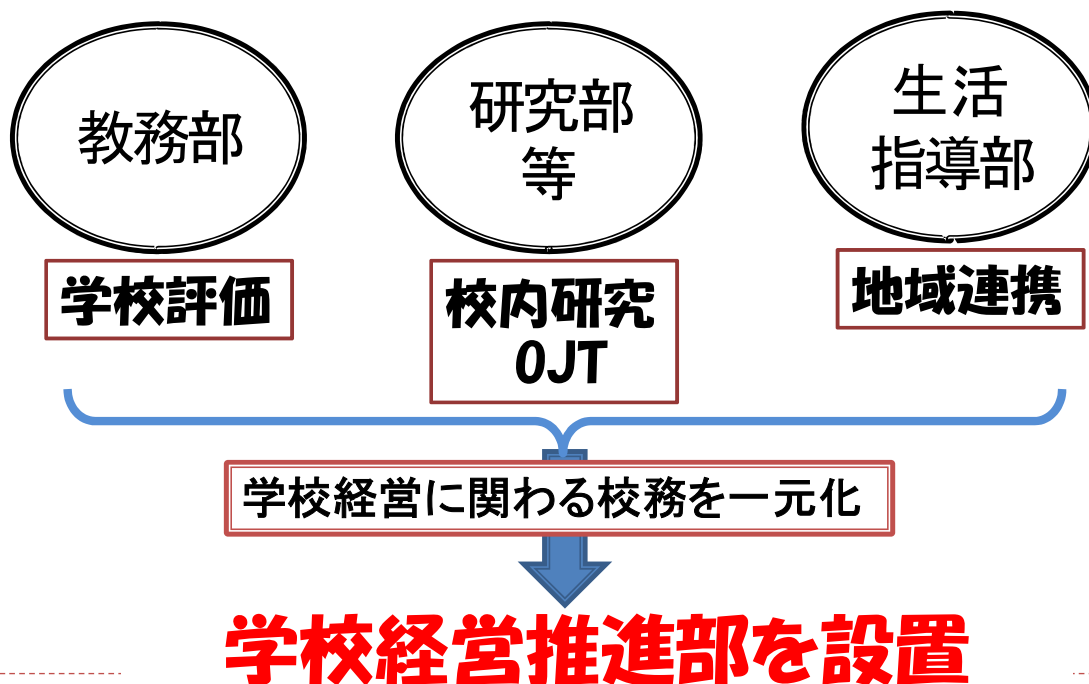
将来の管理職候補者を育てたい

**専ら学校経営に取り組む分掌
をつくらう!!**

▶ 10

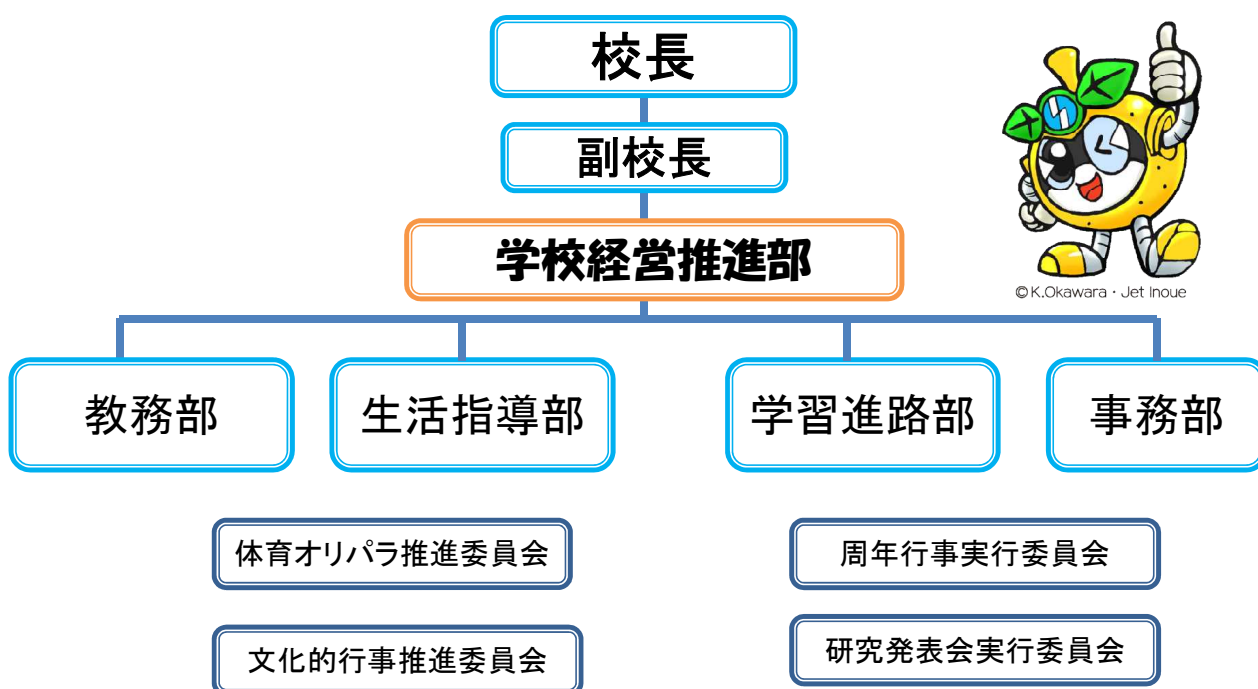
1 なぜ、学校経営推進部を設置したのか

▶ 3つ目の理由「学校経営基盤の強化」



▶ 11

2 学校経営推進部はどのような組織か



▶ 12

2 学校経営推進部はどのような組織か

学校経営推進部の担当校務

- 学校評価
- 校内研修(研究発表会)
- 人材育成
- 校務用PC・PC室(ICT活用)
- ESDオリパラ教育
- 広報(学校だより・学校HP)
- PTA(学校運営連絡協議会)
- 小中連携
- ボランティア活動
- 地域連携(小中連携)
- 学校支援コンシェルジュ
- 校舎増改築工事

▶ 13

週1回部会開催

- ←教務部から
- ←教務部から
- ←担当なし(副校長)
- ←教務部から
- ←学習進路部から
- ←担当なし(副校長)
- ←担当なし(副校長)
- ←担当なし(副校長)
- ←生活指導部
- ←生活指導部
- ←担当なし(副校長)
- ←担当なし(副校長)

2 学校経営推進部はどのような組織か

学校経営推進部の構成員

▶ 平成27年度

管理職と5名で構成(他の分掌と兼務)

学校経営推進主任1名(2学年主任)

教務主任、生活指導主任、1学年主任、2学年主任、3学年主任

▶ 平成28年度

管理職と6名で構成(他の分掌と兼務)

学校経営推進主任1名(教務部)を含めすべて他の分掌と兼務

教務主任、生活指導主任、1学年主任、2学年主任、3学年主任



▶ 平成29年度(今年度)

管理職と教員3名(各学年1名)で構成←3つの分掌を1名ずつ減員

週1回の学校経営推進部会には、各学年主任、教務主任も参加

▶ 14

2 学校経営推進部はどのような組織か

平成 29 年度稲城第三中学校 第 24 回 経営推進部会 (記録)

(司会 :)

1 来週の手配 11月20日(月) ~ 12月3日(日)

日	曜日	行事(生徒)予定	職員動き	備考
20	特			
21	火			
22	水			
23	木	勤労感謝の日		
24	金			
25	土	連合ロードレース大会		
26	日	連合ロードレース大会(予備)		
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
1	金			
2	土			

2 各分担の進行状況

校内研修	
OJT人材育成	
校務PC・PC室	
広報	
ESDオリパラ教育	
校舎増改築工事	
P T A (学校連絡員)	
学校評価	
小中連携	
ボランティア活動	
相談・コンサル	
校務改善	

3 学年からの報告・連絡・相談 ※学年会の資料を添付してください

1 学年	
2 学年	
3 学年	

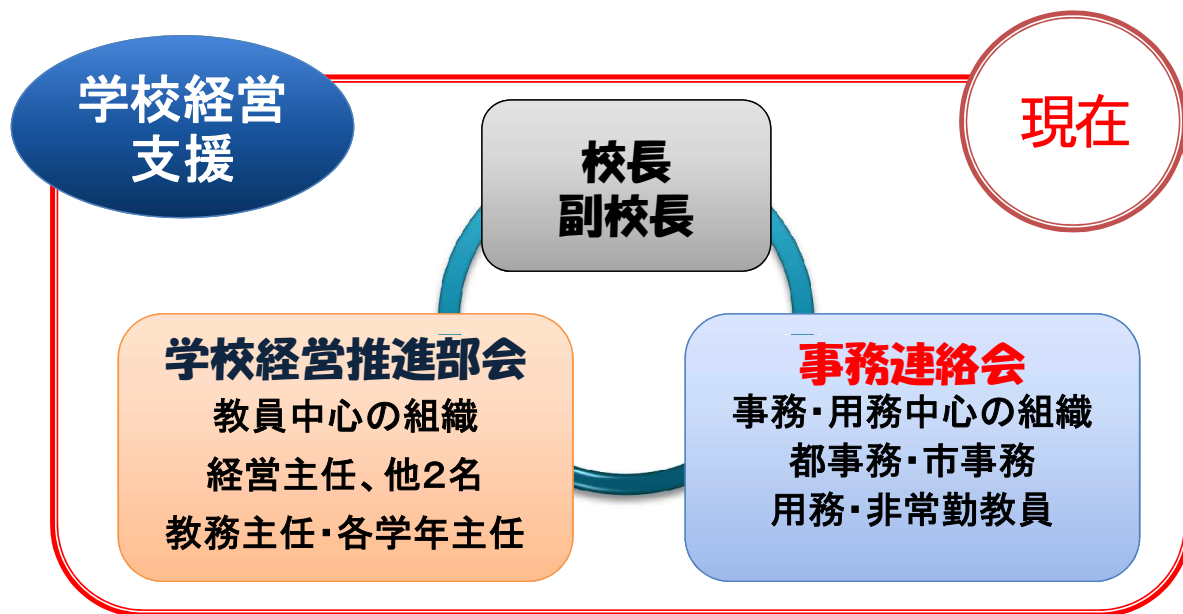
2 学校経営推進部はどのような組織か

事務連絡会

- ▶ 平成28年度から
 - ・管理職と都事務、市事務、用務と非常勤教員の計6名
 - ・週1回定例会を開催
 - ・1週間の行事予定や管理職の動向を確認。都事務、市事務、用務の各担当が担っている校務の進行管理や課題解決のための協議を行う

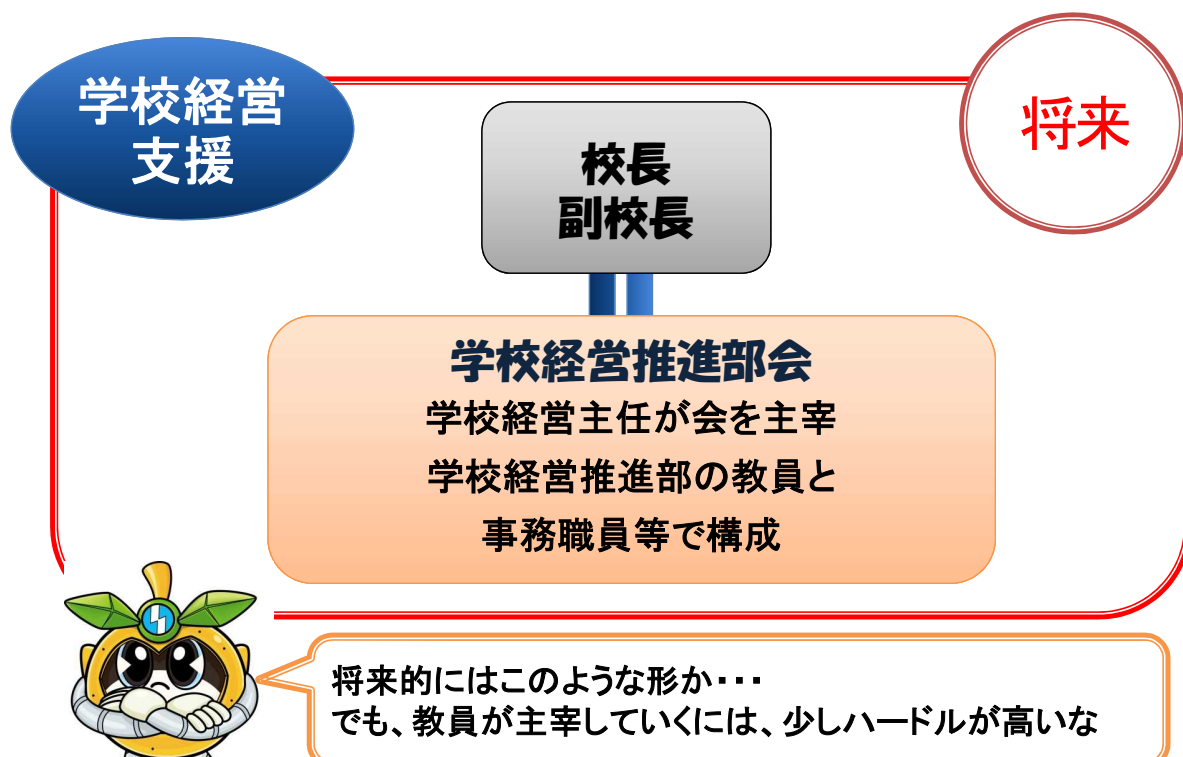


2 学校経営推進部はどのような組織か



▶ 17

2 学校経営推進部はどのような組織か



▶ 18



3 学校経営推進部運営上のポイントは何か

校長のリーダーシップ

- 校長の**学校経営方針**や**重点目標**を**明確**にする
- 新しい組織(学校経営推進部会)の**運営方法**をはっきりと示す
- 新しい組織の立ち上げ当初は取り組みの**「たたき台」**を示す

教職員間のコミュニケーションとモチベーション

- トップダウン**だけでは**「やらされ感」**が強くなる
- 教員間の**コミュニケーション**を大切にしながら、**モチベーション**を上げていく
- 最後まで、繰り返し丁寧に指導して、**確実にやり遂げさせる**

▶ 19

3 学校経営推進部運営上のポイントは何か

▶ 事例の紹介 (「学校だより」の作成)

平成26年度までは校長・副校長が担当
平成27年度からは学校経営推進部が担当

校長の指示で、年間の記事と発行予定日の計画表を作成させる

部会で話し合い、
毎月、教科の学習内容を紹介する記事
市で取り組んでいるESDに関する教育活動を紹介
記事の執筆は全教職員で分担(署名記事)が決まる

次年度から
「学校だより」は年間発行計画表の微調整
で毎月発行される

たたき台

コミュニケーション

ルーチン化

▶ 20

4 学校経営推進部の成果と課題は何か

成果

1. 学校経営に関する校務の役割分担が明確になったこと
2. 新しい教育内容への取り組みが着実に実行されていること
3. 学校経営に対する参画意識が高まったこと

学校経営方針が確実に実行されてる

学校経営推進部の機能を向上させていけば、さらに効率的効果的に校務を遂行していくことが可能

4 学校経営推進部の成果と課題は何か

課題

1. 教員組織と事務組織の連結・統合

校務改善を進めるには、教員と事務職員が担っている校務を見直し、学校経営推進部主任が中心になり調整・管理していくことが必要

2. 学校経営推進主任の時数軽減

学校経営推進部の校務内容の拡大にともない、学校経営推進主任にも教務主任や生活指導主任と同程度の時数軽減が必要

3. 組織の継続性

校長・担当教員が異動しても組織を継続できるか
継続できる組織にするには職務をルーチン化することが必要
そのためには、PDCAサイクルを確実に実行していくことが必要

4 学校経営推進部の成果と課題は何か

▶ 新しい教育内容への対応

校長が経営方針を踏まえて、どのように取り組むのか具体的なイメージをもつ

たたき台

校長のイメージをもとに、学校経営推進部で話し合っ
て計画の詳細を決める

コミュニケーション

実行

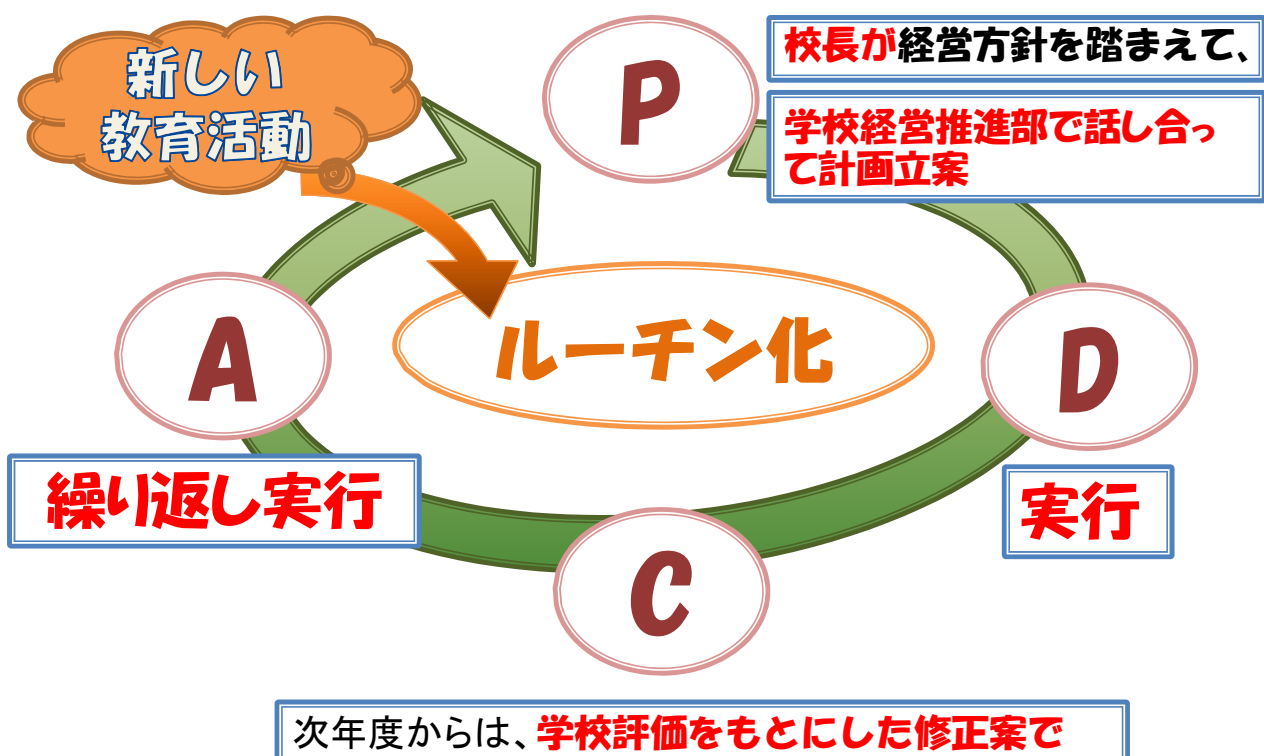
次年度からは、学校評価をもとにした修正案で

繰り返し実行

ルーチン化

▶ 23

4 学校経営推進部の成果と課題は何か



▶ 24